

「環境にやさしい企業」を めざして

2006年4月

有限会社三機システム工業



(有)三機システム工業

有限会社 三機システム工業

空調・給水・排気・電気工事・メンテナンス

E-mail: info@sankisystem.jp



EST-051

経営理念

有限会社三機システム工業は「空調・給水・排気・電気設備の工事、メンテナンス」を行う企業として、各種設備から発生する排気ガス・油煙や臭気を除いて、機能の回復・防火そして防災を目的に安心と環境負荷の低減に配慮した施工とサービスを提供いたします。

また、その活動を通じて、健康と安全で豊かな地域社会の実現に貢献いたします。



環境方針

当社は、環境方針を次のように定める。

1. 基本理念

私たちは、「環境負荷の低減に配慮した製品とサービスを提供する」という基本理念のもとに、企業活動を通じて、良好な環境を次世代へ残す社会的責任を果たすため、下記の基本方針を定める。



会社概要

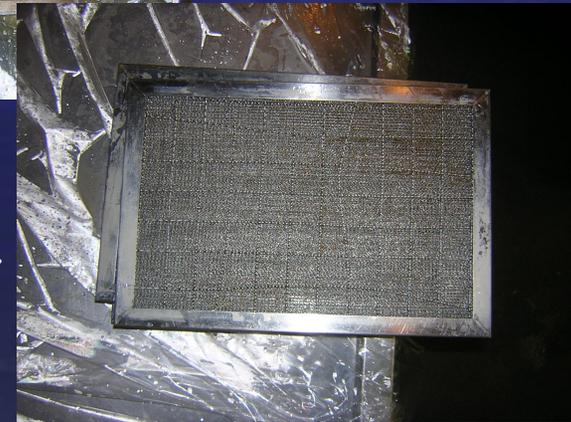
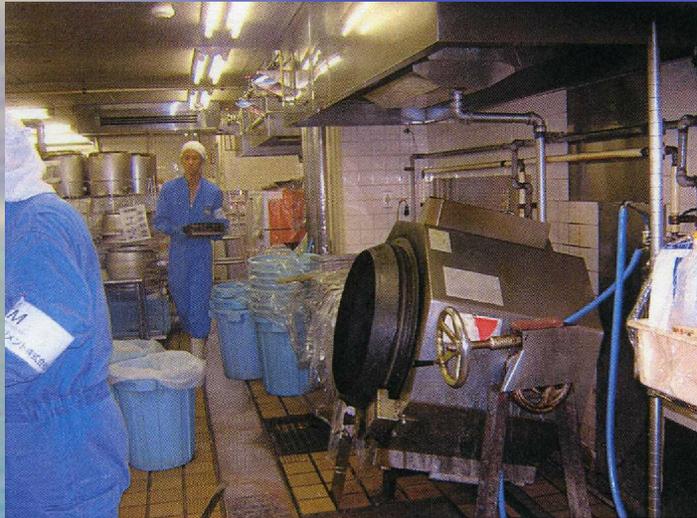
- 社名 : 有限会社三機システム工業
- 代表者 : 代表取締役社長 井上 智史明
- 所在地 : 神奈川県藤沢市川名2 - 5 - 31

Tel:0466-22-8121 FAX:0466-22-8122

<http://www.fujisawa-cci.or.jp/kigyou/sanki/>

- 設立 : 平成5年8月
- 資本金 : 3百万円
- 事業内容: 空調・給水・排気・電気設備の工事、
メンテナンス
- 従業員数: 12名

施工風景



施工実績 (平成14年～17年)

ジョナサン各店、バーミヤン各店、東急ストア、いなげや各店、
東京競馬場、自治大学、大塚商会、さいたま合同庁舎、
後樂園ラクーア、済生会習志野病院、汐留共同通信社本社、
六本木ヒルズグランドハイアット東京、六本木ヒルズ森タワー、
IBM本社、ソニー本社、NTT東日本本社、ホテルオークラ、
東京ディズニーランド、東京ディズニーシーホテルミラコスタ
など

エコステージ導入の理由

弊社の経営活動そのものが「環境ビジネス」である。

特に、工事・メンテナンスは、環境問題を抜きにしては考えられない。「環境」に重きを置いた施工に取り組んで行きたいと考えた



しかし、弊社のような小企業には、ISO14001は重すぎる

「システムが重い」 「文書が増える」
「費用がかかりすぎる」 「人材がいない」

「エコステージ」なら全ての負担が少なく、
我々でも出来そうと判断した。

初回研修風景

2004年9月9日

藤沢商工会議所 会議室にて

(株)KAZコンサルティングより、研修を受ける

「環境ビジネス企業として、お客様・地域社会・・・そして次世代にも誇れる仕事をしましょう」と宣言
(井上社長)



< 後日の復習のためビデオ撮りも >



< 全員で終日勉強しました >

環境方針

1. 基本理念

私たちは、「環境負荷の低減に配慮した製品とサービスを提供する」という基本理念のもとに、企業活動を通じて、良好な環境を次世代へ残す社会的責任を果たすため、下記の基本方針を定める。

2. 基本方針

1. 企業活動を通じて、良好な環境を次世代へ残す社会的責任を果たすため、当社の活動、および製品が与える環境負荷を認識し、その改善のため、
2. 下記の環境管理活動を実施します。
3. 環境に関する法令、協定その他の要求事項を遵守します。
4. 環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、汚染の予防と環境負荷の低減に努めます。
5. 資源・エネルギーの効率的な利用を目的とし、廃棄物の適切な処理、リサイクル、資源の有効利用に努めます。
6. 全従業員が環境方針を理解し、本方針に即した活動が行えるよう環境教育を推進します。
7. この環境方針は、インターネットのホームページに記載することにより一般に公開します。

エコステージ活動開始 2004年10月～

項目		エコステージ日常行動	
重点項目	購入品	養生シート 苛性ソーダ コピー用紙	発注書の記帳 譲受書の受領、記帳 発注書の記帳
	廃棄物	産業廃棄物 可燃ゴミ 不燃ゴミ フラごみ 資源ゴミ	毎週火、金曜日 第2、4木曜日 毎週水曜日 第1、3木曜日
記録	クレーム 改善提案 外部情報	照明 入出庫手続き	12:00～13:00昼休みの 記録表に記帳 発生の都度 発生の都度 発生の都度 毎日就業終
整理、整頓			
清掃	道路 事務所		毎週月曜日 毎朝



認証取得スケジュール



重点環境管理項目と目的・目標

重点環境管理項目	目的(3年後の目標)	目標(1年後)	目標(2年後)
施工不良・クレームの低減	安定したサービスの提供 施工不良・クレームゼロを徹底する	発生件数の把握。 発生件数に対して 20%削減	月間発生件数をゼロに抑える
産業廃棄物の削減	苛性ソーダの使用比率の低減	施工の際の養生シートの廃棄を前年度購入本数に対し 10%削減	シート購入本数に対し 20%削減 する
省資源の推進	サービス・事務の効率化により紙使用量 30%削減 、燃料費 20%削減	紙使用量の把握 電子化を進めることにより、紙使用量 10%削減 、燃料費 10%削減	ペーパーレスをより進め、紙使用量 20%削減 、燃料費 15%削減

活動の成果物

- エコステージ1 マニュアル
- 業務要領

- － 省エネの推進 グリーン購入
- － 廃棄物の処理 / 廃棄物の適切な処理 ゴミの分別表
- － 作業要領 / アクアクリーンフィルターの作業要領
- － 苛性ソーダ / 苛性ソーダの取扱・保管・運搬
- 苛性ソーダの取扱注意
- － 作業検査 / 作業検査要領
- － 省資源の推進

改訂	実施	文書番号	作成部署	作成者	承認	保管部署
2005/5/23	2005/5/9	A-マニュアル-1	管理部	角田和也	井上智史明	総務部 井上千鶴

三機システム工業 エコステージ1 マニュアル

1. 企業理念

有限会社三機システム工業は「空調・給水・排気・電気設備の工事、メンテナンス」を行う企業として、各種設備から発生する排気ガス・油煙や臭気を除いて、機能の回復・防火そして防災を目的に安心と環境負荷の低減に配慮した施工とサービスを提供いたします。また、その活動を通じて、健康と安全で豊かな地域社会の実現に貢献いたします。

2. 環境方針

当社は、環境方針を次のように定める。

環境方針

1. 基本理念

私たちは、「環境負荷の低減に配慮した製品とサービスを提供する」という基本理念のもとに、企業活動を通じて、良好な環境を次世代へ残す社会的

洗浄用苛性ソーダの取扱注意

三機システム工業
管理責任者

洗浄用苛性ソーダの取扱注意

1. 有害性

- ① たんぱく質を分解する作用があり、付着したものを完全に除かない限り、次第に組織の深部に及ぶ恐れがある。
- ② 希薄溶液でも、繰り返し接触していると皮膚表面の種々の組織を傷め、直接刺激性の皮膚炎または慢性湿疹の症状がある。
- ③ 濃度が濃い時には、急激に局部を腐食する。
- ④ ミストを吸入すると気道の刺激症状がある。
- ⑤ 誤って飲み込んだときには、口腔、喉、食道、胃などに炎症を起こす。

2. 応急処置

- 目に入った場合
直ちに多量の水道水で15分以上洗い流し、速やかに医師の手当てを受けさせる。

改訂	実施	分類番号	作成部署	作成者	承認	保管部署
2005/5/23	05/05/09	C-要領-305	管理部	角田和也	井上智史明	総務部 井上千鶴

苛性ソーダ取り扱い・保管・運搬

目的

本内規は、社員・協力会社またはその関係者が洗浄用苛性ソーダを作業現場での使用方法・保管や運搬する場合の要領を定めたものである。

1. 入出荷

苛性ソーダの受け入れ・払い出しは原則として社員に限り、専用の入出庫表に記入し、使用量や残量を確認する。また、月末には入荷量、出荷量のチェックを行い月次使用量、在庫量を把握する。

受け入れ時には譲受書を必ず受領し、保管する。

2. 保管・保存

苛性ソーダは専用の保管庫に保管し、盗難、紛失、漏洩、流失を防止、常に施錠する。

保管庫の鍵は総務部長が管理する。

アクアクリーンフィルターのメンテ作業手順書

1. 目的

エルミネーターは目詰まりを起こしますとフィルターの吸引量が落ちます。フィルターの機能の回復と沈殿物の除去のため、アルカリ洗浄液と中性洗剤、高圧水で油汚れ除去する。

2. 作業の範囲

本体アクアフィルター…汚れの除去
エルミネーター…目詰まりの解除
オーバーフロー管…詰まりの除去
水位センサー…汚れの除去
パネル(調整板を含む)…油の堆積除去
ウォーターパン…汚れの除去

3. 組織体制

作業体制



作業主任者



活動の成果物

- **環境改善提案書**

文 訂	実 施	文書番号	作成部署	作成者	承 認	保管部署
05/5/23	2005/5/9	様式 4-7	総務部	角田和也	井上智史明	総務部 井上千鶴
「環境改善・提案書」						
No. 20050110						
文書：なし・あり 有りの場合：予防処置報告書・是正処置 No. 記入者→環境管理委員会→環境管理責任者→経営者→環境管理活動記録として保管						
問題点・クレーム・ニーズなどの情報						
日 時	2005/1/10					
提案者	技術部 川村鉄治					
場 所	パーミナ 店舗					
対 象	厨房清掃の作業員					
目的・理由	苛性ソーダのやけど危険性が高い					
手段・方法	特に汚れが激しく、高濃度の苛性ソーダを使用している					
(添付資料 有 ・ 無)						
改善案・提案など						
日 時	2005/1/26					
実施者	技術部 川村鉄治 業務用スチーム洗浄機の使用					
場 所	パーミナ 各店舗 目的は油脂を熱風、					
対 象	厨房清掃の作業員					
目的・理由	蒸気で熔融して、こびりつきはがし、洗浄効果を高める 苛性ソーダの使用量の削減し、危険性を軽減する					
実現方法	業務用スチーム洗浄機の活用					

活動の成果物

● エコステージ通信

エコステージ通信№1 2005/5/19 発行

2005/5/9 藤沢商工会議所 第一会議室で15:00 キックオフ

環境管理責任者 角田和也

はKAZコンサルティングの松野さん、協力会社の東田さんが参加し、合計11名となりました。

キックオフは

- 1.環境ビデオ鑑賞「地球温暖化の危機」・・・20分
 - 2.井上社長から三機システム工業の企業理念、エコステージ基本方針を発表・・・15分
 - 3.三機システム工業環境管理委員会のメンバー発表（井上社長）およびメンバーの就任抱負・・・10分
 - 4.KAZコンサルティング 松野さんの応援メッセージ、エコステージ活動（エコシップネットワーク）の紹介他・・・15分
- 予定内容を定刻通り終了した。

社長発表：当初は得意先の要求として受け止めたが、企業理念や基本方針等の整備に伴って、企業倫理にも関する事柄として最認識した。

これらを文書化、明確化し、最優先・最重課題として扱えた

メンバー

近藤委員

加藤委員

エコステージ通信№2 2005/6/17 発行

(有)三機システム工業
環境管理責任者 角田和也

*今月のエコステージ活動概況

エコステージ活動はスタートしておよそ1.5ヶ月を経過しました。
エコステージ基本方針の一ヶ月目の活動目標対結果は次の通りです

目標項目	目標値	実測値
1. クレームの低減	1件	5件………水フィルター関係4件
2. フィルムの廃棄代	16,000円	15,000円………!
3. クリーニング代	-	36,582円
4. 苛性ソーダ	-	11,865円
5. 養生フィルム代	-	16,000円
6. 電気代	-	23,941円
7. コピー用紙代	3000円	16,372円………?
8. ガソリン代	-	91,975円

※ 目標項目№1のクレームの低減、出勤回数の低減は目標値の5倍の結果となった！要因分析、対策が必要。

※ 環境活動チェック（ゴミの分別）はきちんとされている。

*環境管理委員会報告（第一回目）

開催日 2005/5/23 17:00~19:00
場 所 鶴沼市民センター会議室
出 席 委員全員

エコステージ通信「№4」 2006/1/10 発行

(有)三機システム工業
環境管理責任者 角田和也



2006年新春



新年、おめでとうございます。昨年は念願のエコステージ1の認証を取得できました。エコステージは認証取得を主たる目的とせず、形式よりも中身と効果に重点、PDCAサイクルの推進、システムやパフォーマンスの継続改善にあります。本年度は三機システム工業の経営理念の実現やステップIIを目指し、皆様と共にエコステージ活動を推進したいと思います。新春を迎え、「三機システム工業」益々の発展と皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

社長挨拶

皆様、2006年明けましておめでとうございます。昨年度は5月にホームページの開設とエコステージ再キックオフ、9月はエコステージ1の認証を頂き、10月はセコムアルファ側の指定工事店として登録を頂きました。さらに、12月度には藤沢市川名に従来の規模の2倍にあたる新事務所に転居いたしました。メンバーも4月に角田さん、11月トウショー機材側に在籍されていた中村さんが入社し、ハード・ソフトの両面での充実を図ることが出来ました。しかしながら、業績面は受注価格の低価格化、経費の負担増によって増収・減益の見通しです。今年度は課題・問題点が山積みですが、①経常収支の改善②組織・体制の整備③エコステージの運用実践そして相互のコミュニケーションの活性化を基本方針としてエコステージ1の1年目評価を整然と迎えることが出来たらと念願しています。2006年1月5日 代表取締役 井上智史明



化学物質用語解説

発ガン性、発ガン物質
生物に腫瘍を発生させる性質を発ガン性といいます。発ガンの原因となるものには、化学物質、ウイルス、放射線、紫外線などがありますが、この中で発ガン性を持つ化学物質を発ガン物質と総称しています。
ダイオキシン類
都市ゴミ焼却炉の有機塩素系農薬などに含まれる有機化学物質の一種で「ダイオキシン類対策特別措置法」(平成12年1月15日施行)では、ポリ塩化ジベンゾ-p-ダイオキシン(PCDD)ポリ塩化ジベンゾ-furan(PCDF)コプラナーポリ塩化ビフェニル(Co-PCB)の3物質群を「ダイオキシン類」と定義しました。

NEWS

*セミナー「改正・新会社法」
場所 藤沢商工会議所 4階ホール
主催 藤沢商工会議所 中小企業相談所
日時 2006年2月3日(金)14時~16時

*第9回三機システム工業環境管理委員会
場所 会議室
日時 2006年1月23日(月)17時~19時

三機システム工業



藤沢市川名 2-5-31
TEL0466-22-8121 FAX0466-22-8122
e-mail:info@sankisystem.jp
http://www.fujisawa-cci.or.jp/kigyousanki



活動の成果物

- 業務規定

- **職務権限規定**

- 決裁規定

- 業務分掌規定

- 外注管理規定

- **環境影響評価規定**

- **濃度計量証明書**

- 教育・訓練規定

- 文書管理規定

- 苦情処理規定

- 受注管理規定

- 購買管理規定

- 保管規定

職務権限規定

1 目的

本規程は、「組織規定」に基づき、職務遂行の原則、各職位の責任と権限および各職位相互の関係を明らかにすることによって責任体制を確立し、業務執行の円滑かつ効率的な運営を図ることを目的とする。

職務遂行の原則

2 職務の遂行

職務の遂行にあたっては、法令および社規の定めるところを遵守しなければならない。

2. 各職位にある者は、定められた職務を責任もって遂行し、かつ相互に関連のある業務については、関連部門と協力し、業務活動が効率的に行われるよう努める。

3 指揮命令系統の統一

職務の遂行にあたっては、指揮命令系統の統一を乱してはならない。

2. 命令

環境影響評価規定

1. 目的

この規定は三機システム工業の活動またはサービスの環境側面を明確にし、環境影響を評価する手順を定めることを目的とする。

2. 適用範囲

三機システム工業および取引先が管理可能な活動またはサービスに適用する。

3. 基本方針

環境影響の客観的評価

4. 用語の定義

1) 環境側面等調査表；環境側面の抽出と、その環境影響を評価する際に用いるリスト

5. 環境影響調査の

環境管理責任

1) 経営層によ

2) 新製品を開

デルチェン

濃度計量証明書

2005年9月6日

有限会社三機システム工業 殿

貴殿よりご依頼のありました試料の計量結果は次の通りであることを証明します。



件名	排水分析	NECフジシステム株式会社 環境管理センターグループ 〒211-8666 川崎市幸町1753番地 TEL: (044) 435-1087 FAX: (044) 435-1706 計量証明事業 神奈川県知事登録第123号 環境計量士 第環6120号 斎藤 とも子
試料の特徴と状態	受け入れ時異常なし	
受付日	2005年 8月 22日	
採取日	2005年 8月 20日	
採取場所	—	
採取の区分	他社	
採取者	有限会社三機システム工業殿	
採取方法	—	
分析実施日	2005年 8月22日 ~ 9月 6日	

計量の対象	計量の結果				単位	計量の方法
	No. 1 洗浄剤原液	No. 2 食堂廃液	No. 3 10倍希釈廃液	No. 4 エ7レ-ソソ		
1 pH	13.3 (22.6℃)	12.9 (23.0℃)	11.9 (23.0℃)	—	—	規格12.1
2 生物化学的酸素要求量 (BOD)	89	52000	2600	410	mg/l	規格21及び32.3
3 浮遊物質量 (SS)	300	37000	2300	72	mg/l	規格59付表8

エコステージ認証システム および取り組み項目

- 認証システム

エコステージ1 必須項目
文書類
文書管理・記録の管理
外部コミュニケーション
運用管理
緊急事態への対応
是正処置
予防処置

- 取り組み項目

省資源・廃棄物・
リサイクル(養生シート)
化学物質(苛性ソーダー)
環境教育
環境負荷低減(水質)
社会貢献等

活動から生まれたもの

- 従業員12名という規模で、社長自身も現場作業に従事する中での、「エコステージ1」の導入で一度は挫折。しかし、初心に帰って会長はじめ全社員一体となつての再チャレンジで、丁度1年がかりの認証取得。：**全員活動（それぞれの役割・責任）**
- この活動の中で、今後の企業活動インフラに必要不可欠な「職務権限規定」「外注管理規定」「決裁規定」など諸規定を制定できた。：**経営品質の向上**



この活動により業務・作業品質はもとより、
企業としての信頼性が向上し
新規受注が増大また新規事業の開拓も進んできた

今後の抱負

「私どもの活動は始まったばかりですが、今後もお客様、協力企業様をも巻き込んで、環境循環型社会の実現に少しでもお役に立ちたい。そして、**環境・社会にやさしい会社**になりたいと思っています。」(井上社長)

